

令和5年度

帯広市文化賞

帯広市文化活動功労賞

令和5年11月3日

帯広市教育委員会

# 帯 広 市 文 化 賞



すぎうら ひさし  
杉浦 壽 (83歳)

## 《受賞理由》

氏は、昭和63年より帯広市民劇場運営委員会委員長を長年務められたほか、十勝文化団体協議会会長、帯広交響楽団理事長、帯広市文化スポーツ振興財団理事長等の要職を歴任し、北海道立帯広美術館の誘致や、帯広交響楽団の設立に尽力するなど、市民の文化活動を支える環境づくりに積極的に取り組み、地域の文化振興に大きく寄与されてこられました。

また、帯広市民オペラ公演や帯広市民バレエ公演に参画し、市民、文化団体、行政、経済界が一体となった他に類を見ない文化的取り組みを成功に導き、今日も続くそれらの活動は、市民主体の文化創造の成功事例として高い評価を得ているほか、同公演に障害をもつ子どもを招待するなど、社会貢献活動にも熱心に取り組んでおられます。

このような氏の長年にわたる活動は、地域文化の向上発展に大きく寄与し、特に功労が顕著であると認められることから、帯広市文化賞を贈り顕彰するものです。

## 《略 歴》

昭和60年～平成25年	帯広商工会議所常議員
昭和63年～平成14年	帯広市民劇場運営委員会委員長 十勝文化団体協議会会長
平成元年	帯広市民文化ホール柿落し公演実行委員会委員長
平成14年～平成20年	帯広市文化スポーツ振興財団理事長
平成16年	帯広北ロータリークラブ会長
平成17年～平成24年	十勝精神保健福祉協会会長
平成19年～平成20年	国際ロータリー第2500地区ガバナー補佐
平成20年	G8サミット市民フォーラム十勝代表
平成21年～令和4年	帯広交響楽団理事長
平成24年	帯広市功労者表彰（教育文化功労）
令和2年～	帯広グランドステージ協議会会長

# 帯広市文化活動功労賞



わたなべ さだよし わたなべ ていしょう  
渡邊 禎祥 (渡邊 禎祥) (89歳)

## 《受賞理由》

氏は、昭和30年より美術教諭として教鞭を執る傍ら、十勝管内の教職員による荒土美術会の立ち上げに参画するなど、創作技術の研鑽に邁進し、全道展や独立展などで入選・受賞を果たされたほか、学校退職後も展覧会を数多く開催するなど、今日まで精力的に創作活動を継続されています。

平成17年には全道展会員となり、平成23年にはNPO法人十勝文化会議の十勝文化賞を受賞するなど、その作品やひたむきな活動は斯界から高い評価を受けており、「神田日勝」との交流などを語り継ぎながら、長きに渡り活躍する姿は、多くの尊敬を集めています。このような氏の活動は、地域の美術文化の向上推進にひたむきな努力を続け、その活動と功績が顕著であると認められることから、帯広市文化活動功労賞を贈り顕彰するものです。

## 《略歴》

昭和35年	荒土美術会創立
昭和40年	全北海道勤労者美術展 受賞
昭和42年	独立展 初入選
昭和45年	全道展奨励賞受賞 独立展選抜展 出品 独立展会友
平成6年	神田日勝記念美術館「神田日勝と1960年代の美術北の同時代者たち」
平成17年	全道展会員に推挙
平成18年～平成21年	全道展十勝地区会代表
平成21年	神田日勝記念美術館「神田日勝と1970年の美術」
平成22年	帯広市民ギャラリー「渡邊禎祥展～昭和発・平成へのメッセージ」(個展)
平成23年	NPO法人十勝文化会議十勝文化賞受賞
平成24年	紺綬褒章受章
平成26年	北海道立帯広美術館「北海道立帯広美術館コレクション選十勝の美術100年」
平成30年	北海道立帯広美術館「神田日勝と道東の画家たち」
令和3年	北海道立帯広美術館「北海道の美術1950-70年代」
令和4年	瑞宝双光章受章
令和5年	神田日勝記念美術館「よみがえる全十勝美術展」